



<http://www.arsvi.com/>

公開ワークショップ

# マツリの生存学～呑メヤ踊レヤ生き残レ！～

現在におけるマツリは誰によってどのように行われ、その行為にはどのような意味があるのか。そしてマツリによって、人びとはどのように生き残ろうとするのか。本ワークショップでは、マツリに携わる実践者による事例報告およびパネルディスカッションと、演者によるパフォーマンスによるマツリの擬似体験をお届けします。

コメンテーターによさこい研究で知られる内田忠賢氏をお迎えし、マツリの継続による地域存続の可能性を探ります。

**主催:**立命館大学グローバルCOEプログラム「生存学」創成拠点 / 立命館大学生存学研究センター  
「生存」の人類・社会学研究会(立命館大学グローバルCOEプログラム「生存学」創成拠点院生プロジェクト)

日時: 2010年9月3日(金) 14:00 ~ 17:00

場所: 立命館大学衣笠キャンパス 創思館1階 カンファレンスルーム

参加費: 無料(事前申込不要)

問い合わせ先: 吉田幸恵(プロジェクト代表) [gr0000sk@ed.ritsumeikan.ac.jp](mailto:gr0000sk@ed.ritsumeikan.ac.jp)

立命館大学生存学研究センター事務局 TEL: 075-465-8475

## プログラム

詳細は <http://www.arsvi.com/o/s28.htm> をご参照ください。

13:30 ~ 14:00 映像上映 大川平荒馬踊り

14:00 ~ 15:00 趣旨説明 吉田 幸恵(立命館大学先端総合学術研究科)

第一部 研究報告「マツリの現在」

報告 大川平荒馬踊り 西嶋 一泰(立命館大学先端総合学術研究科)

報告 太秦戦国祭り 福田 一史(立命館大学先端総合学術研究科)

報告 東九条マダン 梁 説(立命館大学先端総合学術研究科)

コメンテーター 内田 忠賢氏(奈良女子大学教授)

15:00 ~ 15:10 休憩

15:10 ~ 16:10 第二部 パネルディスカッション「マツリの生存学」

パネリスト 炭谷 耕太郎(立命館大学学生サークル「和太鼓ドン」代表)

パネリスト 黒坂 周吾(パフォーマンス集団「BATI-HOLIC」代表)

パネリスト 第一部 報告者 および コメンテーター

16:10 ~ 16:20 休憩

16:20 ~ 17:00 第三部 ワークショップ「和太鼓ドン」・「BATI-HOLIC」による荒馬踊りの実演

解説 西嶋 一泰(立命館大学先端総合学術研究科)

コメント 永田 貴聖(立命館大学先端総合学術研究科研究指導助手)

司会: 松田 有紀子(立命館大学先端総合学術研究科大学院生・日本学術振興会特別研究員)



キャンパスマップURL [http://www.ritsumeikan.jp/campusmap/pdf/kinugasa\\_map.pdf](http://www.ritsumeikan.jp/campusmap/pdf/kinugasa_map.pdf)

アクセスマップURL [http://www.ritsumeikan.jp/accessmap/accessmap\\_kinugasa\\_j.html](http://www.ritsumeikan.jp/accessmap/accessmap_kinugasa_j.html)

駐車スペースがございませんので、公共交通機関をご利用ください。